

質問	中原中也が少年時代に出した歌集『末黒野』の共著者、吉田緒佐夢について知りたい。
回答	吉田緒佐夢は本名吉田理(おさむ)、号は翠泡。『末黒野』の中心的な著者。阿武郡三見村の小学教員から防長新聞の記者になり、山口に転住。 「当時阿武郡で小学校教員をやっていて、同じく防長新聞に歌を送っていた吉田緒佐夢君(中略)が防長の記者として山口に転住して来たので」(山川千冬) 防長新聞社に社会部記者として入社したのは大正10年12月のことで、(『新編中原中也全集』第1巻詩1解題篇P.363) 「末黒野」発刊当時、大正11年春、20歳。(『山口県文学年表 年表編・解説編』山口県立大学附属郷土文学資料センター P.55) 「彼が防長新聞に入ったのは、大正10年12月である。」「大正14年1月退社」 「昭和40年12月23日、堺で他界した。」(和田健「吉田緒佐夢の人間像」『中原中也記念館館報』第6号) 「中原中也記念館館報」第4号に「『末黒野』と吉田緒佐夢」、第5号に「『小さき芽』と吉田緒佐夢」、第6号に「吉田緒佐夢の人間像」(和田健)が掲載されている。
回答のプロセス	
資料	『新編中原中也全集』第1巻詩1解題篇(Y918ナチ) 『山口県文学年表 年表編・解説編』山口県立大学附属郷土文学資料センター(Y910ヤマ) 『中原中也記念館館報』第4号～第6号
備考	「中原中也記念館館報」はインターネットからPDFを閲覧できる。